

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成31年3月22日(2019.3.22)

【公開番号】特開2017-140193(P2017-140193A)

【公開日】平成29年8月17日(2017.8.17)

【年通号数】公開・登録公報2017-031

【出願番号】特願2016-23079(P2016-23079)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B	6/00	3 2 0 M
A 6 1 B	6/00	3 0 0 S
A 6 1 B	6/00	3 0 0 W
A 6 1 B	6/00	3 2 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月4日(2019.2.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外部装置と有線通信および無線通信の少なくとも一方でデータのやり取りが可能な通信機能を備えたX線撮影装置であって、

X線に応じた信号を生成するためのセンサアレイを備えたセンサ部と、

発音による報知を行う発音部と、

イベントの検出に応じて、前記発音部に発音を実行させる報知手段と、

を備えており、

前記報知手段は、前記外部装置と通信を不能にした状態において、前記センサアレイから信号の読み出しを行う期間には前記発音部に発音を実行させないように、前記発音部による発音の実行を制御することを特徴とするX線撮影装置。

【請求項2】

外部装置と有線通信および無線通信の少なくとも一方でデータのやり取りが可能な通信機能を備えたX線撮影装置であって、

X線に応じた信号を生成するためのセンサアレイを備えたセンサ部と、

発音による報知を行う発音部と、

イベントの検出に応じて、前記発音部に発音を実行させる報知手段と、

を備えており、

前記報知手段は、前記外部装置と撮影毎に前記データのやり取りを行わずに前記信号を記憶部に蓄積する場合、前記センサアレイから信号の読み出しを行う期間には前記発音部に発音を実行させないように、前記発音部による発音の実行を制御することを特徴とするX線撮影装置。

【請求項3】

前記期間は、前記センサアレイからX線照射後の画像信号を読み出す期間、及び、補正用の画像データを得るために前記センサアレイから画像信号を読み出す期間の少なくとも一方を含むことを特徴とする請求項1または2に記載のX線撮影装置。

【請求項4】

前記期間は、X線照射の開始を検知するための照射検知期間を含むことを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載のX線撮影装置。

【請求項5】

前記期間に前記発音部による発音要求を伴うイベントが発生した場合に、前記発音部による発音要求を保留する保留手段をさらに備え、

前記報知手段は、前記期間の終了後に、前記保留手段に保留された発音要求に応じた発音を前記発音部に実行させることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載のX線撮影装置。

【請求項6】

前記報知手段は、前記期間に前記発音部による発音要求を伴うイベントが発生した場合に、前記発音部による発音要求を前記外部装置へ送信する、及び／又は、前記発音部による発音と異なる手段を用いて前記イベントの発生を報知する、ことを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載のX線撮影装置。

【請求項7】

前記報知手段は、前記期間に発生した発音要求を伴うイベントの種類を判定し、判定された種類に応じて、前記発音要求に対する処理を切り替えることを特徴とする請求項1乃至6のいずれか1項に記載のX線撮影装置。

【請求項8】

発音の設定要求に応じて、前記発音部における発音の設定を変更する変更手段をさらに備え、

前記変更手段は、前記期間において発生した前記設定要求を無視することを特徴とする請求項1乃至7のいずれか1項に記載のX線撮影装置。

【請求項9】

前記イベントは、前記X線撮影装置の動作の間の、任意のタイミングで発生するイベントであり、バッテリの残量不足の検出または外部装置との通信の切断の検出を含むことを特徴とする請求項1乃至8のいずれか1項に記載のX線撮影装置。

【請求項10】

X線に応じた信号を生成するためのセンサアレイを備えたセンサ部と、発音による報知を行う発音部を備え、外部装置と有線通信および無線通信の少なくとも一方でデータのやり取りが可能な通信機能を備えたX線撮影装置の制御方法であって、

イベントの検出に応じて、前記発音部に発音を実行させる報知工程では、前記外部装置と通信を不能にした状態において、前記センサアレイから信号の読み出しを行う期間には前記発音部に発音を実行させないように、前記発音部による発音の実行を制御することを特徴とするX線撮影装置の制御方法。

【請求項11】

X線に応じた信号を生成するためのセンサアレイを備えたセンサ部と、発音による報知を行う発音部を備え、外部装置と有線通信および無線通信の少なくとも一方でデータのやり取りが可能な通信機能を備えたX線撮影装置の制御方法であって、

イベントの検出に応じて前記発音部に発音を実行させる報知工程では、前記外部装置と撮影毎に前記データのやり取りを行わずに前記信号を記憶部に蓄積する場合、前記センサアレイから信号の読み出しを行う期間には前記発音部に発音を実行させないように、前記発音部による発音の実行を制御することを特徴とするX線撮影装置の制御方法。

【請求項12】

請求項1乃至9のいずれか1項に記載のX線撮影装置の各手段としてコンピュータを機能させるためのプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 0 7 】

本発明の一態様によるX線撮影装置は、

外部装置と有線通信および無線通信の少なくとも一方でデータのやり取りが可能な通信機能を備えたX線撮影装置であって、

X線に応じた信号を生成するためのセンサアレイを備えたセンサ部と、

発音による報知を行う発音部と、

イベントの検出に応じて、前記発音部に発音を実行させる報知手段と、  
を備えており、

前記報知手段は、前記外部装置と通信を不能にした状態において、前記センサアレイから信号の読み出しを行う期間には前記発音部に発音を実行させないように、前記発音部による発音の実行を制御する。